



「野球しようぜ！」

一昨日、大谷選手からのグローブが学校に届きました。始業式で、子供たちに「今週中には届くと思います」と言ったものですから、「グローブは来ましたか?」「まだ届きませんか?」と何人もの子供たちから聞かれました。また、「大谷選手からのグローブをどうしたいですか?」の私からの問いかけにも、「3個のうち、2個は使って、1個は飾っておけばよいと思います」「飾っておかない方が、大勢の人が使えてよいと思います」等の意見を聞きました。私から「自分の考えを聞かせてほしい」と伝えたことに対して、ちゃんと自分の考えを伝えてくれた子供たちが何人もいたことにうれしく思います。

グローブと一緒に、大谷選手から、学校関係者宛てに次のようなメッセージが添えられていました。

学校関係者各位

ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味をもってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介しますためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に、私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブを寄贈させていただけることに感謝いたします。

貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。



子供たちに、グローブの到着と大谷選手のメッセージを伝えた後の昼休みには、グローブの周りに子供たちの山ができました。大谷選手の希望のとおり、このグローブが「次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボル」になることを期待しています。



また、南砺市内の匿名の方から、木製バット1式と軟球1ダースも市内の全小学校に寄贈されました。ありがとうございます。

○野球用品の使い方について

現在、グローブとバット、ボールは職員室前廊下に飾られています。使い方が決まるまでは、触ってもよいのですが、キャッチボール等に使わないことになっています。私は大切に飾っておくよりは、大切に使った方がよいと思っています。贈ってくださった大谷選手や市内の匿名の方も子供たちに使ってほしいと願っているに違いありません。悩ましいのが『使い方のルールについて』です。大勢の人が使いたいと思うので喧嘩にならないように使用割がいるのではないかと、他の遊びと混ざると危険なので使用場所を決めておかなければいけないのではないかなど、ルールは必要だと思います。また、それ以上に悩ましいのが、木製バットや軟球をどう使うかについてです。どこの学校でも木製バットや軟球の使用をさせていないと思います（本校では、プラスチックのバットや軟らかいボールも使用させていません）。子供たちの怪我がよく起こったという理由からです。今後、教員や子供たちとも相談して、使い方のルールを決めていきたいと思っています。



とは、言うものの…

私たちが小学生の頃は、放課後になると、希望者が集まり当たり前のように野球の試合をやっていました。昼休みの時間に「今日、グラウンドに集まれるか」と一人一人に確認に来る者がいたり、勝手にチーム編制をして打順や守備位置を決める者がいたり、……。また、木製バットや金属バットも各自が家から持ち寄り、いつの間にかバットの自慢大会が始まるなど、木製バットや金属バットを使用することも普通でした。逐一、大人が細かいルール決め介入しなくても、子供だけで遊びを成立させていたような気がします。もちろん、振ったバットに当たって怪我をしたということもありましたが、それを通して危機管理意識を身に付けていたことも確かです。

そんなことを考えると、私たちは、自分の子供の頃のことを棚に上げて、ずいぶん過保護な大人になっているのではないかな。今の子供たちも、昔の子供のように、そのような力や感覚をもっているのに、子供たちの先回りをして、子供たちが自分の力で成長しようとしているのを邪魔しているのではないかな。そんなことをいつも考え、日々、葛藤している校長です。

(校長 曲 師 政 隆)

保護者の皆様もご覧ください

現在は、職員室前廊下に、このように展示してあります。2月16日（金）の学習参観日にはご覧いただけるかと思いますが、早く見たいという方はご来校いただいても構いません。

